

その他フェロモントラップ誘殺消長
 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

【ナシヒメシンクイ発生生態】

- ・リンゴ産地では主に年4回程度発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬頃、第1世代成虫は6月、第2世代以降の成虫は8月～9月頃に発生し、最後の老熟幼虫が越冬する。
- ・第1世代成虫がモモ、スモモ、アンズなどで芯折れ被害を引き起こす。

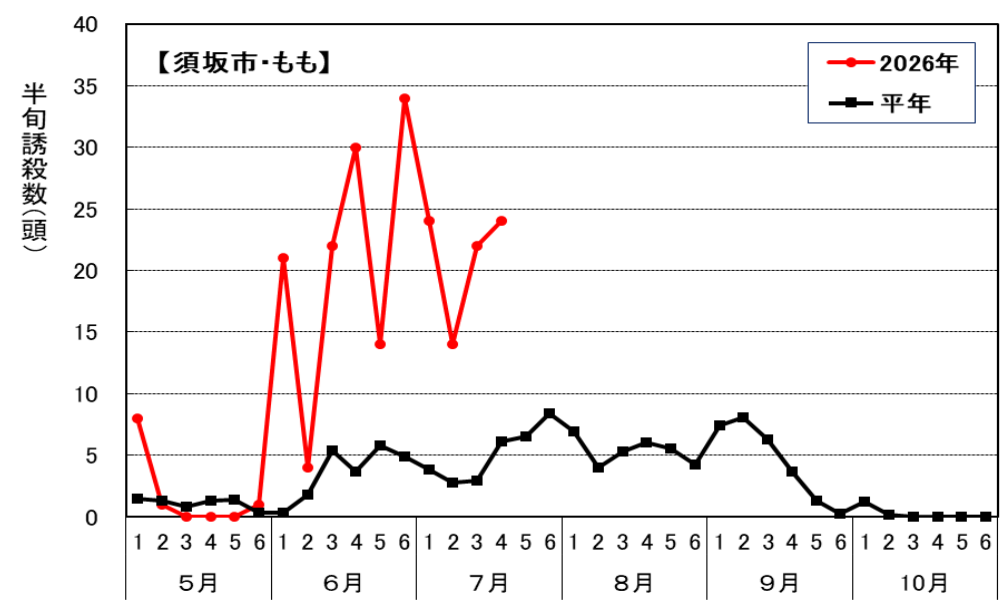
【モモノゴマダラメイガ発生生態】

- ・年3回発生する。越冬世代成虫は5月中旬から7月上旬、第1世代成虫は7月下旬から8月下旬、第2世代成虫は8月下旬から10月に発生する。老熟幼虫で越冬する。
- ・越冬はクリやカキなどが多く、越冬世代成虫の産卵はモモやスモモが多いため、カキ、クリ近隣のモモは被害が出やすい。第1、第2世代の成虫はクリ、カキに産卵する。
- ・果実の食害量は大きい。

【コスカシバ発生生態】

- ・年1回発生であるが、発生期間は5月から10月と長期間にわたる。幼虫もしくは蛹で越冬する。
- ・幹に食入するが、被害が大きくなると、胴枯病等も併発し、樹が衰弱する。

○ナシヒメシンクイ（須坂市・病害虫防除部）



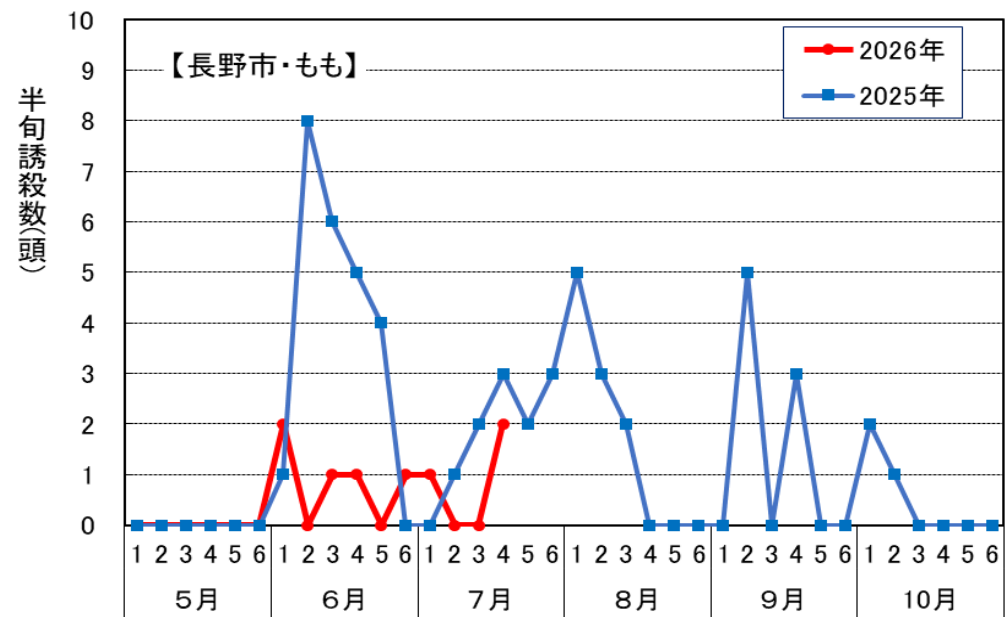
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・平年は2016年～2025年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数の増減を短期間で繰り返し、徐々に増加していく状況が続いていたが、7月に入り、半旬ごとの誘殺数の変化の幅がやや小さくなり、増加の傾向も鈍っている。

○モモノゴマダラメイガ（長野市・病害虫防除部）



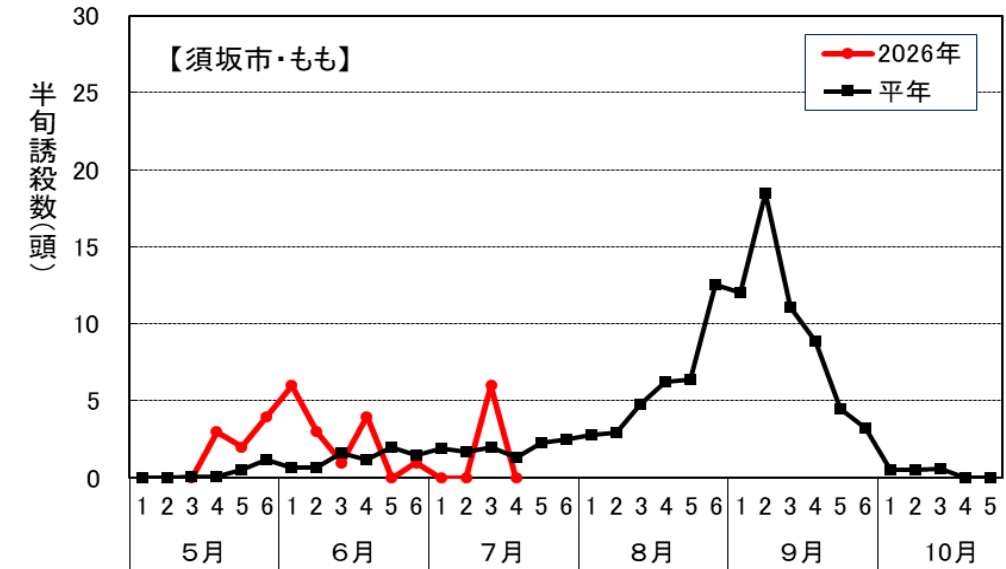
【調査地点】（標高約 340m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・昨年のようなまとまった誘殺の山が本年はないが、ここまです、少数の個体が入ったり入らなかったりする状況が続いている。

○コスカシバ（須坂市・病害虫防除部）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

- ・5月後半から6月前半にかけ、平年よりやや多い状態が続き、6月後半以降は誘殺される頭数が減っていた。7月も第3半旬に一時的に誘殺があったが、これまでのところ、平年のように9月に向け時わずかずつ誘殺が増えていく、というような傾向とはなっていない。